



本腰を入れて

日向市立細島小学校 校長 山之内 雅己

文科省の「コミュニティスクール」では、地域とともにある学校づくりとして学校と地域とが一つの共同体として双方向性のある連携をとることが求められています。その連携の中心的な活動としては、地域の人的・物的教育資源を活用した「キャリア教育」と「ふるさと教育」が考えられます。2つの教育は表裏一体であり、車の両輪のような存在でもあります。外の市町村の小・中学校では、2つの教育を推進する上で常に課題となるのが人材確保とコーディネーターの存在です。その点、本市は他市町村よりも1歩も2歩も先に進んでいます。日向市キャリア教育支援センターと「よのなか教室」があるからです。その存在は本当に心強い限りです。本校でもこの2つの教育に本腰を入れて取り組み始めています。今後とも学校への支援をよろしく願いいたします。



今、学校がやるべきこと

日向市立塩見小学校 校長 原口 広司

本市のキャリア教育に接して、「どんな役に立つ人になりたいか」、そのためには、「どんなことを身につけていけば良いか」を学校だけでなく、社会(企業等)と連携しながら子どもたちに考えさせていくことが大切であると考えようになりました。そのために、学校がやるべきことは何か。まずは、子どもたちに数多くの大人と接する機会をつくることだと思います。そして、そうした大人たちから生き方を語ってもらうことも。また、学校や子どもたちの実態に応じた地域人材を意図的・計画的に活用することも言うまでもありません。こうした視点から、キャリア教育を通して、ふるさとの日向を大切に、貢献しようとする子どもたちを育てたいと思います。



わずかな時間をともにして

日向市立平岩小中学校 校長 吉田 英明

上級生に守られながら登校する1年生。前期ブロックのリーダーとして集会を仕切る4年生。小学部のリーダーとして朝のボランティア活動に精を出す6年生。具体的な進路を考えつつ、全校に手本を示す9年生。キャリア発達という視点からすると、小中一貫校は子どもの成長をより系統的に見ることができます。

しかしながら、彼らの人生は本校を卒業してからのほうが遙かに長く、生き方に影響を受ける人との出会いも多いことでしょう。ほんのわずかな時間ですが、彼らの人生の土台づくりに携わる責任を重く感じつつ、子どもたちのキャリア発達をどう促していくか、頭を悩ます日々が続いています。



S先生、お元気ですか。

日向市立日知屋東小学校 校長 宮崎 克彦

私は、高1の時、S先生という担任と出会いました。その先生は体にハンディがいましたが、全く気にする素振りも見せず、ユーモアがあり、山登りやキャンプなども私たちと一緒に挑戦してくださいました。悩みや相談事にも乗ってくださいました。先生からは人としての生き方や人生の楽しみ方を学んだ気がします。酒と旅と文学を愛し、私たちラグビー部や野球部の猛者達の面倒もよくみてくださいました。私は、そんなS先生にあこがれ、教師の道を志しました。数年前にご勇退された先生にお会いした時、車いす中心の生活になっておられましたが、温かくユーモアのある言動は当時のままで、友だちと共に元気をいただいて帰りました。

子どもたちにも、これから先、いろいろな人との出会いを大切に人生を歩んで欲しいと思う今日この頃です。



平岩小中学校7・8・9年生

6月15日、「働くことの意義など、体験に基づく講話」を3人の「よのなか先生」から聴きました。

- ①睡眠環境診断士 松岡浩蔵さん
- ②看護師 鈴木敦子さん
- ③地域福祉コーディネーター 穴谷修志さん



「眠りの駅ライフショップまつおか」代表取締役
睡眠環境診断士
松岡 浩蔵さん
「睡眠脳力
早起きで学習能力向上」



日向病院 前看護部長
看護師
鈴木 敦子さん
「やりがい 生きがい
人の役に立つ」
(人の役に立ち一生続けられる仕事)



日向市社会福祉協議会
総務課長
穴谷 修志さん
「ライズワーク ライフワーク
ライクワーク」

■講話を聞いて（生徒感想文より抜粋）

学んだことはたくさんありました。例えば、福祉の事や夢などです。理由は、夢は仕事ではなく、将来、やりたい事・「何のために」を設定する事と私が考えていなかった大切な事を知れたからです。

そして、仕事（働くこと）という事は、人生が豊かになって福祉の仕事とは、ふだんの暮らしをしあわせにするものなんだと改めて実感することができたからです。仕事に生かしていけるようにしていきたいと思いました。

高校「よのなか教室」

門川中学校3年生177人

6月3日（金）高校進学を考える取組として、高校「よのなか教室」が行われた。富島高校、門川高校、日向高校、日向工業高校の先生方による模擬授業（生徒は希望に応じ、3コースの授業を入れ替わって受講）を体験した後、門川中出身の高校生たちが高校生活の様子やメッセージを生徒たちに送った。



門川高校福祉科



富島高校生活情報科



日向高校フロンティア科



日向工業高校機械科



全体会（先輩方へお礼）

日向市新赴任教職員歓迎研修会

平成28年6月30日（木）、昨年度に引き続き新任、赴任で日向市にいられた先生方をお迎えし、研修会（参加者62名）と懇親会（参加者42名）を行いました。日向の取り組みを認識した後、学校ごとに自己紹介をして交流を深めました。



- 【講話】 ①日向市の
キャリア教育の推進について
水永正憲センター長
②日向市政の基本方針について
十屋幸平日向市長



センター長



十屋市長

※誌面の関係上、一部割愛して掲載しております。ご了承ください。